



▲威勢良く通りを練り歩く国際色豊かな新町の大人神輿

白石市民春まつり

〜片倉公まつり〜



第60回全日本こけしコンクール

〜ほほえみの年輪をかさねて〜

5月3日から5日までの3日間、日本最大のこけしの祭典「第60回全日本こけしコンクール」がホワイトキューブで開催。県内外から約39,500人のこけしファンが訪れました。

60回の節目を迎えた今年コンクールには、伝統こけしや新型こけしなど5部門に全国各地の工人158人から788点の作品が出品されました。厳正な審査の結果、最高賞となる内閣総理大臣賞には小林繁男工人（山形県新庄市）の鳴子系伝統こけし「松三郎型11号」が選ばれました。

また、白石市観光大使で活弁士の山崎バニラさんが、市内の小学生が絵付けしたこけしを審査する「山崎バニラ賞」。最優秀賞は、白石第二小学校の高野瑠々花さんが受賞しました。会場では期間中、こけし工人の実演販売や地場産品の販売、写真・鉛筆画の展示で賑わっていました。そのほか、こけしの絵付け体験や木とのふれあいコーナー、白石工業高等学校主催の体験コーナーなど、イベントが盛りだくさんの3日間となりました。

1_こけしファンで賑わった伝統こけし工人の実演販売 2_「内閣総理大臣賞」を受賞した小林さんの作品 3_「山崎バニラ賞」を受賞した小学生3人 4_親子で楽しめるこけしの絵付けコーナー 5_地場産品ブースで販売された白石紙子



5月3日、白石の春の風物詩「白石市民春まつり」が開催され、約33,000人の人出で市内中心部が賑わいました。恒例の「しろいし大行列」では、神社の御輿渡御を先頭に、稚児行列に先導された太鼓山車、威勢の良い大人神輿・子供神輿が続き、約1,000人が参加。白石市観光大使の山崎バニラさんも駆けつけ、パレードを盛り上げてくれました。



2



3

1_白石市消防団伝統階子乗り隊による大技披露に観客は手に汗握る 2_白石城本丸広場で行われた片倉鉄砲隊の火縄銃の演舞に観客もどよめく 3_誰よりも速く50kgの米俵を土俵の外へ運び出せ！ 4_雅な衣装をまとって太鼓山車を引く稚児行列



4



3



2



5



4

■市内在住の受賞者一覧(敬称略)

賞名	部	作品名	受賞者名
農林水産大臣賞	2	季の移ろい (3本組)	高橋とし子
文部科学大臣賞	3	想	渡辺 邦彦
中小企業庁長官賞	2	和柄 (2本組)	佐々木美穂
東北森林管理局長賞	1	栄五郎型 まげ10.2号	新山 実
全日本こけしコンクール会長賞	1	本人型千鳥桜崩し 胴しぼり8.5号	佐藤 保裕
福島商工会議所会頭賞	2	いのり	佐々木 功
河北新報社賞	1	福雄型二段くびれ胴8.5号	新山真由美
毎日新聞仙台支局賞	1	栄五郎型 椿材8.6号	新山 学
仙台放送賞	1	福雄型8.7号	新山 吉紀
仙台銀行賞	1	段違いばた菊9号	佐藤 早苗

▲60回を記念して登場した高さ12mの巨大こけし「花子」